

地域と学校の協働通信

令和3年2月19日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第5号

コロナ禍における学校と地域の連携 地域コーディネーター オンライン座談会

令和3年1月7日に緊急事態宣言が再発出され、学校の活動も様々な変化を余儀なくされています。

そこで、学校と地域の橋渡し役として活躍されている皆さんに「コロナ禍での地域コーディネーターの活動」について、お話しいただきました。（感染症拡大防止のため、オンライン形式で実施しました。）

第三小学校地域コーディネーター
かまはら むつえ
垣原 睦恵さん

座右の銘：一期一会



桜野小学校地域コーディネーター
ごとう ますみ
後藤 真澄さん

座右の銘：明日は明日の風が吹く



第五中学校地域コーディネーター
あきやま そう
秋山 聡さん

座右の銘：真剣に考えるべきことを学んだら、残りは笑い飛ばせばいい。



指導課長
むらまつ よしおみ
村松 良臣

座右の銘：今は将来



【指導課長】早速ですが緊急事態宣言発出による臨時休業等、今年度はコロナ禍前と比べて学校活動も大きな変化がありました。地域コーディネーターの皆さんの活動にはどんな変化があったか教えてください。


【垣原】多くの地域の方に協力いただいて学校の消毒作業をお手伝いしたことは、例年にはないことでした。また、例年であれば学校行事等で子どもたちの元気な姿が見られますが、今年はその機会がほとんどなかったことがとても残念でした。

【後藤】消毒作業などは、外部の人を入れずに学校側で対応していることが多かったのですが、地域の中に「手伝うよ」と声を掛けてくれる方がたくさんいることは、新たな発見でした。学校行事は中止になることも多かったですが、そんな中でも、先生方が子どもたちのために様々な工夫をされている様子が見えたことは大変嬉しいことでした。

【指導課長】地域コーディネーターの方々には学校側の様々な工夫や取組が伝わっていたようですが、保護者の方や地域の方に対してはいかがでしたか。

【後藤】保護者の方々には「学校だより」等で情報が届いていたと思います。一方で近隣に住んでいる方など、地域の方々には情報が流れていないと感じました。報道等から得る情報を頼りにしている方が多い印象でした。

【秋山】中学校の地域コーディネーターの活動は、職場体験や学習支援教室指導員の手配など、もともと接触機会が限定的です。とはいえ、コミセンの工事が重なったことなどもあり、物理的に人と会えなくなったことにより、情報に触れる機会は減少したと感じています。第五中学校では、新型コロナウイルスに対する対策を含め、防災計画の見直しや、学校建て替えなど、例年のルーティンではない様々な動きがありました。こうした動



きが派生して、学校設備や学校の中の様子など、再確認できたことや、新たな発見もあり、プラスになった面もあったと感じています。

【指導課長】 例年とは違った状況だからこそ、発見もあったということですね。こうした様々な変化があった中で、子どもたちへの影響が心配されていましたが、地域コーディネーターの皆さんからは、子どもたちの様子はどのように見えましたか。

【後藤】 目に見える範囲では特に変わらずに過ごしているように感じます。マスクやフェイスシールドなども上手に生活の中に取り入れ、上手に守って、上手に遊んでいると思います。小学校はグループ単位で学習する機会が多いのですが、こうした機会は少なくなっているようです。毎年のことを知っている大人から見ると、「可哀そう、寂しい」と感じてしまいますが、子どもたち自身は、1年1年が新しい体験であり、比べるものがないせいか、あまり気にしていないようです。また、臨時休業によるものか、生活習慣の乱れなのか、学校から足が遠のいてしまっている子どももいると聞きます。そんなときも、担任の先生や、養護の先生、学校関係者の方々がうまく連携して対応していただいていると感じています。

【秋山】 中学校はもともと、生徒たちと直接の接点が少ないのですが、その数少ない接点であるナイトハイクや、地域のお祭り、小学校での防災宿泊体験なども今年は中止になってしまいました。通学のときに家の前を通る生徒くらいしか直接話す機会がないので、子どもたちの声を聞く機会がほとんどありません。先生方から情報をいただくことはありますが、子どもたちの声を聞いていないので、情報が一方通行で、子どもたちの様子が見えにくくなってしまっていると感じています。

【垣原】 登下校の見守りをしている限りでは、元気に過ごしているように思います。ただ、学校からは子どもたちのケガが多いと聞きました。4月、5月の臨時休業が影響で、体力も積み重なっていないのではないかと感じています。野球やサッカー、わくわく農園など、子どもたちが楽しみにしている活動も、思うように実施できておらず、寂しく感じています。

【後藤】 掃除をしながら通学路の見守りをしている地域の方から、「いつも綺麗にしてくれてありがとうございます」と挨拶をする生徒がいると聞きました。その方はこの生徒たちのことを、学校に伝えたいと思ったのですが、今年は学校と地域の会議も中止になることが多く、伝える機会がなかったようです。最終的には地域コーディネーターを経由して学校に連絡をしたのですが、地域側から学校に伝えたいこともあるのだと気付かされました。

【指導課長】 新型コロナウイルスの感染状況次第ではありますが、部活動や子どもたちの活動は徐々に再開させていきたいと思っています。先回りにして禁止してしまうと、何もできなくなってしまうので、その時々状況に合わせて一緒に対応を考えていきたいと思っています。では次に、地域コーディネーターとして活動される中で、工夫していることなどがあれば教えていただけますか。

【垣原】 緊急事態宣言発出以降、なかなか直接学校に行くことができなくなりましたが、学校とは電話で情報交換するように努めています。運動会等の学校行事に参加する機会がなく残念です。登下校の時間帯は家の外に出て、直接子どもたちの顔を見て声掛けするように地域の方々をお願いしました。できる限り、情報を得るための工夫はしていましたが、コミセンも長く閉館していたので、学校外での情報交換の機会も失われてしまいました。普段であれば、子どもから、高齢者まで、多くの方が訪れて、コミセンにいただけで様々な情報に触れることができるのですが。



【秋山】 確かに、武蔵野にとってコミセンがどれほど大きな存在だったのか、改めて気づかされましたね。中学校の地域コーディネーターとしての活動機会はもとも少なめですが、今年は特に学校からのオファーが少なかったと感じています。臨時休業期間もあったので、授業を進めるだけでも大変な状況なのだと思います。第五中学校では建て替えや、周年行事の計画が進行しているので、校長や副校長と意見交換する機会はあるのですが、それ以外の先生方とはなかなかお会いできず、情報を得る機会は減っています。同じブロックの小学校の手伝いもしているのですが、そちらは「密にならない地域運動会」や、「手持ち花火に切り替えた花火大会」など、事業を中止にするのではなく、WEBでできることや、家でできることなど、なんとか実施できる方法を模索しながらやっています。

【後藤】 これまで通りには実施が難しい授業について、先生方と話し合いながら実施の方法を検討しています。例えば、3年生を対象とした「まち探検」です。例年は子どもたちが地域のコミセンや児童館、クリーニング店や郵便局などを訪れてインタビューをするのですが、今年は子どもたちが用意した質問を持って、地域コーディネーターが動画を撮ってくる形で行いました。「授業のスタイルは変えても、内容は変えない」という方針で進めています。また、一度にたくさんの人が集まりにくいので、少人数に分けて実施するなどの工夫もしています。





【指導課長】ひとことに少人数に分けると言っても、大変な手間がかかりますよね。ちなみに、まち探検の企画は地域コーディネーターからの提案ですか。

【後藤】もともと先生方自身が、放課後等にインタビューに回り、記事にするという計画でした。ただ、インタビューを受ける側の方々からは、学校が授業を行っている日中の時間帯を指定されることも少なくありません。それであれば、インタビューは地域で引き受けようという話になりました。そして、インタビューの内容を文字に起こすのも手間と時間がかかるので、動画にしておこうと。

【指導課長】地域も学校と一緒に知恵を絞っていただいているわけですね。それでは今年度、各校独自に取り組んでいるようなことがあれば教えてください。

【垣原】第三小学校は今年 90 周年記念式典が 11 月に行われる予定でしたが、2 月まで延期されています。多くの来賓や卒業生、地域の方をお迎えして、皆さんと一緒に祝いしたかったのですが、それは難しくなりました。ただ、子どもたちには思い出に残る会になってほしいと願っています。

【後藤】日光の移動教室が中止になってしまったため、学校の先生と 6 年生の実行委員でスペシャルイベントを企画しました。内容は校庭での花火大会と、夜の学校探検だったのですが、普段はできない体験に 6 年生たちはとても盛り上がっていました。今年度は保護者が学校の様子を見る機会も少なかったため、このイベントは多くの保護者にお手伝いいただき、子どもたちの様子を見ていただくこともできました。

【秋山】変わった取組で言えば、小学校のプールで魚のつかみ取りをしました。例年であれば、移動教室で行うプログラムです。今年中止になってしまったのですが、なんとか学校内で子どもたちに体験させてあげることができないか、という先生方の熱い思いで実現しました。先生方は授業があった魚を受け取りに行くことができなかったため、地域コーディネーターが魚の運搬をお手伝いしました。



【指導課長】それぞれ、様々な活動にご協力いただいていますね。最後に、来年度に向けて取り組みたいことや、今後の展望などがあれば、教えてください。

【秋山】今年度はテレワークで自宅にいるお父さん方もたくさんいて、積極的に協力してもらうことができました。その影響もあって YouTube での配信のような、インターネットや動画を使った取組など、うまく活動の中に取り入れられたと思います。様々なことが今まで通りにはできない、こんな状況の中だからこそ、新しいことが産まれた感覚もあって、アフターコロナに向けた希望のひとつだと感じています。今年度は中止になってしまったとどんど焼きなども、来年度に向けて実施できる方法を考えていきたいと思っています。

【後藤】なんとかやり方を工夫しながら実施できるものもあれば、2 年生を対象とした「むかし遊び」のように実施できないプログラムもありました。地域の方からむかし遊びを教わった 2 年生が、1 年生に教えるというプログラムなのですが、顔を合わせて、手を取り合って、交流の中で実施するものなので、どうしても代替の方法が見つかりませんでした。こうした取組も、来年度はなんとか実施の方法を探っていきたいと思っています。

【垣原】今年度は授業参観も 1 家庭 1 名に限定されていました。ある家庭では保護者が途中でバトンタッチして参観するなど、学校も地域も家庭も工夫しながら過ごしていると感じます。直接会わなくても、話は電話でできますが、やはり直接会わないと、人と人との関係が薄くなってしまわないかと感じてしまいます。来年度は少しずつでも再開できることが増え、こういった会議も、直接会って、みんなの顔を見ながら話ができるといいなと思っています。

【指導課長】やはり直接会って、情報交換することは大切ですね。皆さんのお話を伺って、学校は地域の皆さんの協力で成り立っているのだということに改めて感じました。新型コロナウイルス感染症への対応はまだまだ予断を許しません。学校も様々な工夫をしながら、この難局を乗り切っていきたいと思っています。地域コーディネーターをはじめ、地域の皆様のご協力も不可欠ですので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。



地域の商店と協力して(商店街探検)



第二小学校では、自分たちが住んでいる地域の商店街を知るために、毎年「商店街探検」を実施しています。

子どもたちも大変楽しみにしていますし、「活動報告」ではグループごとに、自分たちが気付いたことなどについて、活発に発表しています。

地域コーディネーターは学校からの依頼を受けて、地元の商店街と交渉し、日程や受入店舗等の調整をしています。店舗を営業しながら子どもたちを受け入れることは大変ですが、地元の商店街の魅力を再発見してもらう機会として、商店街にはご協力いただいています。

今年度も実施に向けて、商店街との調整を続けてきましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、中止となってしまいました。来年のこの時期の感染状況は分かりませんが、新しい生活様式のなかでも、子どもたちに地域の魅力を伝えられるやり方を、工夫しながら考えていきたいと思っています。



学習支援教室「チャレンジ・スタディ」



第三中学校では、「チャレンジ・スタディ」という名称で学習支援教室を実施しています。予習や復習、定期テスト対策などの個別学習を中心に、英検・漢検・数検合格を目指したプログラムもあります。

指導の中心となる指導員（教員免許あり）は学校側で任用していますが、それをサポートする支援者（有償ボランティア）の手配等、連絡調整は地域コーディネーターが担っています。

今年はコロナ禍による学習の遅れを心配したためか、例年よりも多くの子どもたちから参加希望がありました。支援者の手配も難航しましたが、多くの支援者が協力してくださいました。

しかし、緊急事態宣言が再発出されたことにより、チャレンジ・スタディも中止を余儀なくされています。

オンラインによる授業実施の環境は整いつつありますが、実際に子どもたちの表情を見ることで、学習への理解や関心の程度だけでなく、その子どもが背景に抱える課題などが見えてくることもあります。

学習のオンライン化が進んだとしても、こうした個別・対面学習の機会は大切にしていきたいですね。



【支援者からの声】

- ◎どこが分からないのか、表情などから感じ取ることが出来るためじっくりと教えることが出来ます！
- ◎子どもたちが意欲的に学習に取り組む姿や、新たな課題をクリアしたときに見せる表情などが、活動のモチベーションです！